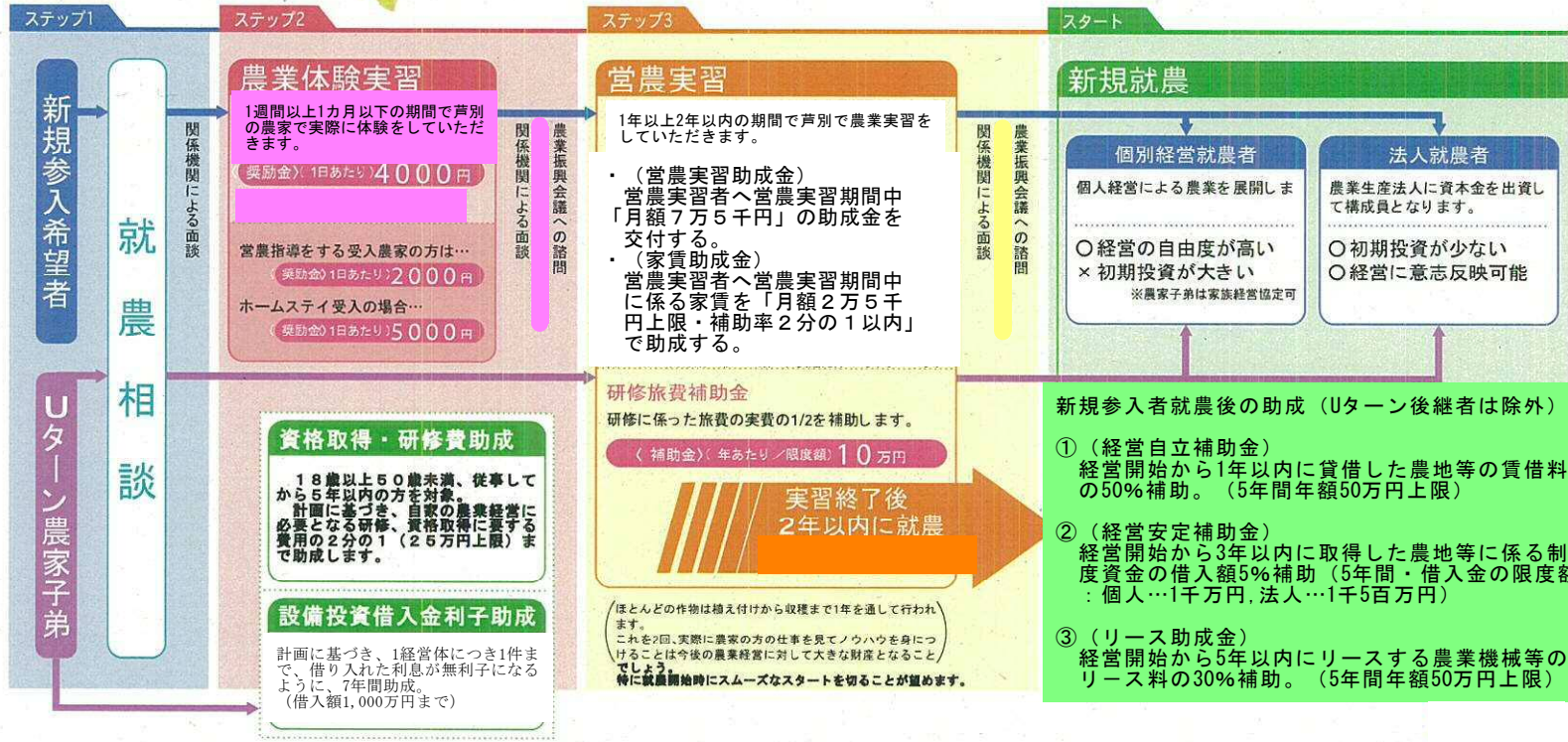


芦別で農業を生涯の仕事にしたい。 そんな方をサポートする制度です。



農業をしたい、自然の中で暮らしたいというご希望をお持ちの方は最近数多くいらっしゃいます。しかし、そのために必要な事を具体的に知っている方はあまりいません。せっかく夢を実現しようとしたのに来られても、準備不足・計画の甘さで挫折されては本当に残念なことです。やるからには、絶対に成功して欲しい。それは、私たちの偽らざる望みです。農業にはやはり適性があります。相性と言ってもいいかもしれません。それを見極めた上で、本格的に就農準備をしても遅くはないんじゃないか? そんな思いから、芦別市では、短期の農業体験の制度を用意しています。まず、ここであなた自身の気持ちと農業の実感、そして芦別の街を知って下さい。そのうえで、次のステップに進める方の登場を私たちは心待ちにしています。

Q&A

いくらやる気があっても、初めての仕事に挑戦するのは不安なもの、ましてや初めての土地となるとなおさらです。そんな皆さんに随分と少しお答えしておきましょう。それでもまだ不安という方は、遠慮なくなんでもご相談ください。

この制度を受ける資格は? 審査はどんなものですか?

特別な資質が必要わけではありません。本市に居住して、農業経営によって自立しようとする意欲と可能性があると認められる方をバックアップします。年齢としては18歳以上50歳未満の方を対象にしています。審査は関係機関による面談、農業委員会への意見徴収、農業振興会議への諮問等です。

芦別に適した作物は何ですか?

芦別は水稲、メロン、馬鈴しょ、食用百合、花き、南瓜など、比較的色々な作物が栽培されていますが、新たに経営を開始しようとする方には、花き、施設野菜(メロン等)といった、初期投資が少なく、経営面積が小さくて済む作物をお薦めしています。

就農するときに必要な物は? 金額はどれくらいかかりますか?

農業を本格的に始めるには、どうしてもまとまった準備資金が必要になります。各種補助や利子補給は、その負担をできるだけ軽減して、就農しやすくするため就農のために必要なものの一例(栽培するもの、規模などにより異なります。これはあくまで)

●農地	2ha	●ロータリー	1台
●トラクター	30ps1台	●軽トラック	1台
●ハウス	(330m)×10棟(花・野菜)	●除雪機	1台

地域のつながりって どのようなものですか?

農業を始めるには、周りの方との協力が必要となることもあります。そのため行事には積極的に参加するなど、地域社会に溶け込む努力も大切になります。

収入がどれくらい見込めるのか 不安なのですが?

農業は自然相手ですから、その年の天候によっても収量・品質が大きく左右されます。また、市場価格の動向や、栽培する本人の技術にも大きく関係するため一概には言えませんが、下記のような目安をお考えください。

花の場合 夫婦2人)
カスミ草40a栽培で所得250万円が目安
メロンの場合 夫婦2人)
メロン70a栽培、後作のほうれん草15aとして所得250万円が目安

なお、営農実習終了後5年で所得250万円を目指した営農計画を立てることになります。

冬場はみなさん どうしてるのでしょうか?

農作業の多い冬期間(12月~2月)は、北海道農業大学校等で経営・管理研修を行っています。

就農して困ったり、行き詰まったりしたら 誰に相談したら良いのでしょうか?

市役所の農林課農産課や芦別市支店支店農産担当でも各種相談に応じています。お気軽にご相談ください。

例えば脱サラして花き栽培を目指すAさん

40歳になったら自然の中で作物を作って生活したいと考えていたAさん。そろそろ、その年齢が近づきましたが、具体的にどうしていいのか見当もつきません。

電話で相談したり、資料を集めたりして検討しましょう。

以前から憧れていた、北海道の事情を知りたくて「北海道農業担い手育成センター」へ。そこには、道内各地の新規就農支援の資料がいっぱい。担当者に自分の希望を話すところでも親身に相談に乗って

実際に自分を試すチャンスです

そこで、芦別のことを知る、気候も種やかで興味のある花き栽培が盛んということ。資料を見ると体験実習の制度もある。自分に合うかどうか試すにもいいチャンスだと早速応募した。

自立した農業経営者になるための準備期間です。

体験実習を終了し、いよいよ、就農に向けてスタート。会社を円満退社して、2年間の農業実習に突入。実習とはいえ、新規就農支援資金が出るから、生活もさ

さあ、農家経営のスタートです。

自信もついたところで、いよいよ新規就農者として独立、農地を世話してもいい。退職金と借り入れで就農準備をする。借入補助や利子補給など様々な支援制度を活用することで、長期の返済計画もOK! 実習時代に知りあった先輩農家からたくさんのアドバイスをいただいて、第2の人生に向かって頑張るぞ!

